

よ さ の

水・緑・空

笑顔かがやく ふれあいのまち



第33号

2014年

8月8日発行

議会だより

Yosano Town Council
Report



主な記事

議会構成	2P
クローズアップ	6P
6月定例会	8P
5月臨時会	14P
一般質問	16P

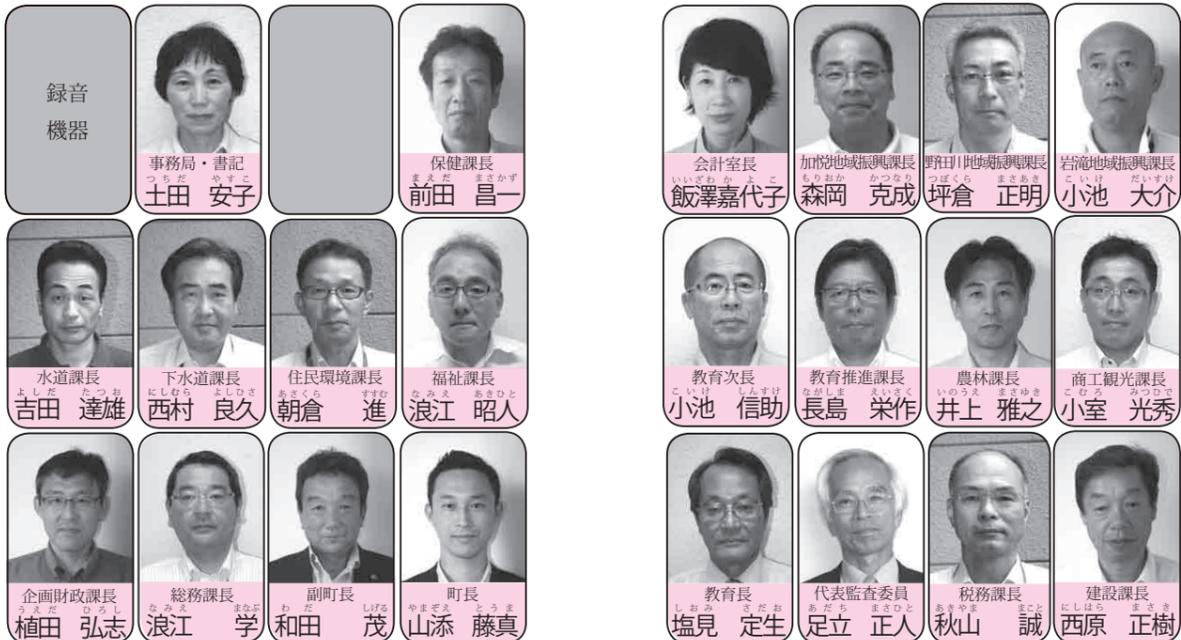
新しい与謝野町議会構成

議場内配置図

議長



※9月定例会からの配置図になります。



答弁席

質問席



議会構成が決まる

議長に今田博文氏を選出 副議長には多田正成氏が就任



議長就任あいさつ



議長
今田 博文

太陽がまぶしい本格的な夏の季節になりました。町民のみなさまには、健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて、今回の議会改選にあたり、議長に就任させていただきました。何分にも浅学菲才の身ではございますが、どうかよろしくお願い致します。

議会も今期から定数が16人となりましたが、7人が新人議員であり、議会も前期とようすが変わってきました。常任委員会も3から2委員会となり所管も幅が広がり、今まで以上に気を引き締めて行かなければなりません。

平成24年3月の議会基本条例の制定から3年目に入りました。この条例に謳われている精神の浸透をさらに推進し、自己研鑽と資質の向上、公正性と透明性の確保、そして何よりも住民の皆さんに信頼される存在のある議会を目指してまいります。議会の活動がよく見えないと感じられることがあると思います。情報発信をはじめ議会懇談会などの積み重ねにより、見える議会への改革も進めなければなりません。

また、議会は討論の場です。二元代表制にふさわしい、首長と議論し対峙できる緊張感を持った議会運営ができればと考えています。私たち議会に対して時には厳しく、時には温かく見守り接していただければありがたいです。

何よりも、住民福祉の向上に寄与することが、私たちの大きな役割であり使命だと認識しています。私たちがのびのびと、どうかよろしくお願い致します。



監査委員
有吉 正



副議長
多田 正成

一部事務組合・広域連合議会議員

※各委員・各議員は議席順に記載しています。

京都府後期高齢者医療広域連合

多田 正成

京都地方税機構

今田 博文

与謝野町宮津市中学校組合

多田 家城 宮崎 伊藤 渡邊 高岡
正成 功 有平 幸男 貫治 伸明

宮津与謝環境組合

多田 塩見 宮崎 和田
正成 晋 有平 裕之

宮津与謝消防組合

今田 勢筈 家城 安達 和田
博文 毅 功 種雄 裕之

議会事務局



主査
由利 景子



主幹
土田 安子



議会事務局長
奥野 稔

請願と陳情

町政に関する要望や意見を直接、町議会に申し出ることを「請願」「陳情」と言います。

請願には町議会議員の紹介が必要ですが、陳情にはその必要はありません。陳情については、請願のように採択・不採択を決める場合と、提出された陳情のコピーを本会議の際に議員の議席に配布することにとどめる場合があります。どちらの方法にするかは議会運営委員会で決定します。

請願または陳情のできる方

未成年者や日本に生まれている外国人、町内に住所を有しない人などでもできます。

受付手続き

請願または陳情は、平日の午前8時30分から午後5時まで、加悦庁舎3階の議会事務局で受付けています。直接、議会事務局までお持ちください。

お問い合わせ先

〒629-2498 京都府与謝郡与謝野町字加悦 433 番地
与謝野町役場・加悦庁舎 3階 議会事務局
電話 (0772) 43-0215
ファックス (0772) 43-1555

委員会構成

議会運営委員会

委員長 伊藤 幸男
副委員長 宮崎 有平
多田 家城 正成 功



総務文教厚生常任委員会

委員長 家城 功
副委員長 勢筈 毅
高岡 伸明 小牧 義昭
河邊 幸男 伊藤 英樹 江原 幸男
多田 正成 河邊 新太郎



産業建設環境常任委員会

委員長 塩見 晋
副委員長 宮崎 有平
和田 裕之 渡邊 貫治 安達 種雄 藤田 史郎 有吉 正
今田 博文



議会広報特別委員会

委員長 和田 裕之
副委員長 小牧 義昭
高岡 伸明 藤田 史郎 宮崎 有平
河邊 新太郎 多田 正成



平成26年度

一般会計(3月議会)骨格予算額

117億8771万5千円

6月議会一般会計補正予算

6億3271万5千円

山添新町長「住民の安心・安全」に

配慮しながら「6つの重点施策」打ち出す



6つの重点政策

- ① 新しい視点で産業振興策を実現します。
事業費 65万9千円
- ② 観光振興・交流人口事業の促進を実現します。
事業費 1、217万8千円
- ③ 地域密着型の福祉政策を実現します。
事業費 1、840万円
- ④ 新たな視点での子供子育て支援策を実現します。
事業費 562万3千円
- ⑤ 未来を見据えた教育施策を実現します。
事業費 324万円
- ⑥ 徹底した情報の明確化を行ないます。
どなたでも参画できる町政を実現します。
事業費 10万8千円



江陽中学校体育館

改修工事着工夏休み期間

完成予定9月30日

工事請負費 4,749万6,240円

◎財源内訳

合併特例債 45,100,000円
 一般財源 2,396,240円

AED(2150シリーズ)

自動体外式除細動器入れ替え
対応年数6年(H21年度分更新)
購入予算1,250万円

◎入替え36台 新設4台

KYTネットの速度

塩見 晋

問 ケイ・オプティコムとの容量を5割増やす計画だが夜間のスピードダウンが解消されるのか。

加悦地域振興課長 かなり良くなると思う。

公平なネット環境を

和田裕之

問 今回導入する装置で、特定のアプリに対する通信の「速度制御」を実施できるようにする。法に抵触することはないのか。

加悦地域振興課長 特定のアプリが通信帯域を過度に占有する場合、他のプロバイダーなども「速度制御」を実施しており、違法性はないと認識している。



快適なネット環境を

6月定例会のようす

6月定例会は、6月2日から6月27日まで26日間の会期で開会した。26年度一般会計補正予算（第1号）を中心に人事案件7件、条例の一部改正3件、廃止1件など15件の議案審議を行い全議案可決した。一般質問は14名の議員が各自の考えや思いを訴え、町長や教育長の見解を求めた。

長寿命化計画は

宮崎有平

問 クアハウス岩滝施設長寿命化計画は合理的・経済的な維持管理を目指すために必要だが、58℃の温泉熱を農業・水産業の産業分野や発電に、活用する考えはないのか。

商工観光課長 クアハウスは20年経過しており、設備の修繕は順次行ってきたが、今のニーズに合った施設利用や新しい技術など、無駄のないエコ的な有効利用ができるような長寿命化を考えたい。すばらしい提案であり、参考にしたい。

公共料金の滞納状況は

安達種雄



滞納の状況は

問 町税や使用料など滞納分が今日現在どれくらいになるのか。

税務課長 町税に関しては納期限から5年で不納欠損処分としている。地方税法で定められていて、税以外の料金などもそれぞれの法で定められている。

LED化の効果は

高岡伸明

問 街路灯1100万円の補正の工事内容は、建設課長 昨年度よりLED化を進めている。それに1000万円、地域の暗いとの要望に

100万円。LEDに変えることで料金が半分になる。町内に4000灯ほどあるが、国道・府道から随時変えていく。



LED化で省エネ



与謝野町卓球バレー

夏休みの学童保育は

安達種雄

問 今年度4年生にも学童保育が実施されるが、その内容は、福祉課長 4年生の夏休み期間の学童保育を新たに3ヶ所で行う。やすらの里内で15名の学童を3名の指導員が常時2名体制で指導する。有限会社

ジェイズが取り組んでいる学童保育に委託し、10名の受け入れをお願いする。NPO法人、野田川よい町づくりの会が大江山グラウンド、若者センターで10名の障害者児童を5名の指導者で運営にあたる。

イベントの事故補償は

宮崎有平

問 阿蘇ベイエリア観光イベント事業が民間主導型で取り組まれているが、昨年の福知山市の花火大会のような悲惨な事故が発生した場合の責任と補償はどうか。

商工観光課長 イベントの実行委員会がイベント

保険などに加入している。**総務課長** 全国町村会の総合賠償保険制度に加入して、町主催や委託事業の補償で、身体補償が2億円、対物補償は2千万円となっている。

臨時職員賃金改定は

小牧義昭

問 臨時職員賃金の改定についてのエビデンス（根拠）はなにか。

総務課長 合併以来、賃金額や職務の内容について見直してこなかったのが、このたび各課と調整、検討を行ない改定した。

問 臨時職員は行政運営の重要な戦力になっているが、その支払いは地方公務員法及び条例に違反していると思われるが。

総務課長 賃金総額は960万円増額増員。6ヶ月契約更新で、何十年の途切れの無い雇用が実態であり、地方公務員法に抵触しているという認識はない。**問** 地方自治法、地方公務員法、条例に違反していると思料され、遵守されたい。**町長** 法令、条例に則り制度運用してまいりたい。



役場職員

勢旗 毅

町長 温江地区で進められてきたが、今年度事業実施の内容は。
農林課長 ここ2年間ソフト事業の取組を経て、今年度は直販・加工施設や事務所を予定している。

農林課長 現在栽培の作物に加えてイモ類の珍しい品種の試験栽培などを実施している。
町長 最終的に、参加者はどの位の予定になるか。
農林課長 未定だが、現役員は23名で、女性の参加もあって期待している。



建設予定地

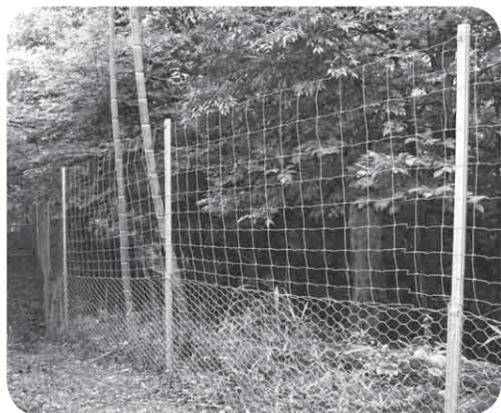
有害鳥獣対策事業

多田正成

町長 猟友会の協力を得て駆除対策に取り組まれているが、捕獲後の処理はどうか。

農林課長 最終処分場で埋設するが、解体し食肉にもする。
町長 解体した後の内臓処理もある。駆除して頂いても残廃処理に困るようなことではいけない。現在計画されようとしている広域ゴミ処理施設に、そういった処理施設整備も必要ではないか。

住民環境課長 ゴミ処理施設の建設は1市2町で取り組んでいるが、そういったことも話しあっていく。



捕獲後の処理は

和田裕之

町長 AED設置は国の義務付けはないが、日本の設置率は世界一だ。当町も72台設置だが、本体も高額、維持管理費も多額だ。今後、レンタルも検討すべき。
総務課長 現状は、購入という方法で考えている。

町長 維持管理も重要であり、救命時に作動しないでは命に関わる。維持管理も懸念されるが、屋外設置も確かに今後の課題だ。いたずらなども懸念されるが、屋外設置も確かに今後の課題だ。



命を救うAED

地元業者への配慮も

家城 功

町長 野田川などの河川井堰改修の地元発注は不可能なのか。地元業者への配慮も必要では。

農林課長 特殊工事であり元請けは難しいが下請けなどについては検討する。

ブランド化って？

家城 功

町長 ブランド化戦略事業の概要は。モノづくりの町と

して、与謝野ブランドを全国に、世界に広める事業展開をしていきたい。



与謝野ブランド

山の家の整備内容は

勢旗 毅

町長 加悦山の家は、インターネットでの集客もあり順調な運営と聞くが。
商工観光課長 古い施設にもかかわらず努力してもらっており、大きな成果が上がっている。今回の補正では、業務用製氷機、業務用食器洗浄機を予定しているが、浴場がニーズにあっていないと認識している。



加悦山の家

予算編成過程の可視化

塩見 晋

町長 今回、補正予算の町長査定で、観光費の1件が削られていたが、査定の経過を知りたい。
町長 取り組みの可視化を新たに始めた。指摘の予算化は不適當で、もう少し検討が必要との判断をした。

町長 見送りの理由は事業なのか、財政的なのか。
町長 予算の内容が未熟であった。もう少し検討できる余地があるのではないかとの判断である。

安全通学の為に緑線を

多田正成

町長 平成24年6月11日に町道の通学道路を、14ヶ所に渡り調査をされたが、改善の進捗状況は。

建設課長 昨年、今年度と順次進めている。

町長 府道は通学道路に緑線が引いてある。子供たちの安全のために、町道には緑線が引けないのか。

建設課長 緑線を引く前に、今は歩行箇所の確保の為に溝蓋をかけている。順次取り組んでいく。



通学路の安全を

事業の深い総括を

伊藤幸男

町長 今まで多くの事業をしてきたが、少なくとも深い反省総括ができていない。総合計画や目標に対する結果はどうだったのか。どこが問題で、なぜ不十分

だったのか。その総括を今後どう生かすのか、この角度からの深い検証がいるのでは。
町長 私が主張してきたPDCAサイクルにもつながるもので同感。

産業医の追加選任

塩見 晋

産業医の追加補正が出ているが、選任先は。総務課長 50人以上の事業所に選任が必要なので、加悦庁舎への選任をした。他の自治体も今回の見直し。



加悦庁舎に今回選任

視点を変えることも

家城 功

除雪車購入費の千二百万円の計上があるが特殊車輛は購入費も高額であるが維持管理費にも多大な経費がかかる。購入以外で可能な支援の方法も考えるなど、視点を変えることも必要では。建設課長 今後については有効的な検討をする。

太田町政との約束

有吉 正

昨年6月議会での一般質問で、町道認定されている町道大門線、農地・水交付金ではしきれない水路などの整備を訴えた。太田町長の答弁は、町では、国・府の方針に沿い、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの問題を解決するため、町内全域を対象に「京力農場プラン」の策定を推進している。岩屋地域で整備の計画や京力農場プランの作成に向けた話し合いに取り組みられることを期待している。それをもとに整備を進めると約束された。その後、会議を重ね、整備計画や岩屋京力農場プランを策定し、3月31日の認定審査会で承認された。町長 まだ、その経過を含め認識が十分ではないが、適正な順序に従って、岩屋の皆さんが努力をされていると認識している。太田町長から引継ぎ、岩屋の振興のため努力する。詳細については、担当課と議論を深め住民要望に



大門道 (岩屋)

工事請負契約

江陽中学校屋根改修工事



江陽中学校体育館

最低制限価格の基準は

高岡伸明

最低制限価格が設定されているが、決め方は。建設課長 国土交通省の基準をもとにしている。H19年からこの制度を利用している。教育次長 今回の工事は国の補助制度には含まれない。耐震・危険校舎など一定のメニューに合致していない。一般的に言っても合併債のほうが7割交付税で返ってくるので、今回は合併債を利用した。学校整備は国の補助制度があるが、合併債を利用したのはなぜか。

町税条例改正

町税条例の改正

国の改正で次の通りになります。(軽自動車税7千600円から1万800円。原付1千円から2千円など)

条例改正

火葬場条例の改正

管理運営を指定管理者に行なわせることができるようになるため。

霊柩車使用条例の廃止

町内の全葬祭業者が霊柩車を持ち、使用が激減していることなど。

人事案件

副町長



和田 茂

(与謝)

教育長



塩見 定生

(上山田)

代表監査委員



足立 正人

(上山田)

住民負担が増える

伊藤 幸男

消費増税で地方格差が広がるので、地方人税の創設で地方格差の解消を図るといものだが、本来の格差解消は、地方交付税でできた訳で、交付税のあり方が消費増税でますます歪むことになる。これは地方財源確保の上でも大きな問題である。また、深刻な経済状況の中で、公共交通網が貧弱なこの地方に住む住民の営業や暮らしに欠かせない、軽自動車やバイクなどの税金が大幅に上がるのは大きな問題ではないか。

そのことは国でも協議されたが、環境問題など協議の結果、提案になった。



消費増税

請願

手話言語条例制定を求める請願書

京都府聴覚障害者協会
与謝支部長 前田 弘美
総務文教厚生常任委員会付託とする。

教育委員会委員

酒井英隆 (加悦)

公平委員会委員

高岡洋子 (東町)

固定資産評価審査委員会委員

日高勝典 (四辻)

矢野直也 (男山)

第56回 5月臨時会 (平成25年度)

5月臨時会は5月8日より12日までの5日間開催され、新たな議会構成と議案が審議された。提出議案は、専決処分で報告9件・補正予算5件・税条例の一部改正2件・財産区管理委員選任など人事案件1件・請負契約変更1件が審議された。

木質チップボイラー 設置工事請負契約変更

契約の相手方は、株式会社巴商会・代表取締役社長海野和雄氏が落札した。

契約事項の変更

請負額の変更前
7,870万8千円
請負額の変更後
8,095万6千8百円
(増額224万8千8百円)
消費税が8%になったため、
工事内容に変更はありません。

国民健康保険条例の改正

国保税の賦課限度額の変更

医療分(基礎賦課総額)
51万〓据え置き

後期高齢者支援金分
14万円↓16万円

介護分(介護納付金)
12万円↓14万円

合計
77万円↓81万円

低所得者の保険税の 軽減基準の変更

世帯主及び世帯に属する被保険

者の所得の合計額が一定以下の場合、均等割額と平等割額を7割、5割、2割減額とされたが、そのうち5割・2割の軽減基準が拡大された。

一般会計第8号補正

787万9千円の増額
総額113億7,120万9千円

簡易水道特別会計第4号補正

1,076万4千円の減額
総額8億9,765万4千円

医薬材料費の減額ならびに下水道関連配水管布設替え工事などの減額

下水道特別会計第3号補正

2,430万円の減額
総額15億7,620万9千円

宮津湾流域下水道事業建設費負担金などの実績による減額

介護保険特別会計第5号補正

事業勘定123万8千円の減額
総額25億6,255万円

介護認定調査員賃金の減額

国民健康保険特別会計 第5号補正

事業勘定5,904万2千円の減額
総額28億7,502万1千円

特別調整交付金の増額ならびに財政調整基金繰入金の減額など
直診勘定165万9千円の減額
総額8,070万6千円

医師報償、医療用機器器具費の減額

専決処分案件

■加悦奥財産区 管理委員

- 小柴 尚登
 - 小嶋 武雄
 - 小牧 貴博
 - 堀井 滋之
 - 細井 昭男
 - 岡田 康雄
- 〓敬称略〓



議 発

与謝野町議会委員会条例の一部改正について

3 常任委員会を 2 常任委員会に改正

■総務文教厚生常任委員会 ■産業建設環境常任委員会

6 月 定 例 会 賛 否 一 覧

賛否の分かれた議案のみ掲載

○印は賛成 ×印は反対
(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案成否を決定します)

議 案	議員名		高岡	和田	小牧	渡邊	安達	江原	伊藤	藤田	宮崎	塩見	河邊	有吉	家城	勢籬	多田	今田	
	賛成	反対	伸明	裕之	義昭	貫治	種雄	英樹	幸男	史郎	有平	晋	新太郎	正	功	毅	正成	博文	
町税条例等の改正	12	3	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成26年一般会計補正予算(第1号)	14	1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



一般質問

ここが聞きたい

「一般質問」は定例会のみ行われるもので、行政全般にわたる議員主導による質問であるが、質問を受ける執行機関も共に十分な準備が必要なため事前通告制となっています。「質疑」は提案された議案に対して質問点を問いただすことです。

Q 岩滝小学校にも夜間照明施設を

A 防災上の観点も含め今後検討する



岩滝小グラウンドに明かりを

問

岩滝地域の住民は大変スポーツを盛んに取り組んでいる。岩滝小学校グラウンドでは、毎週土曜日18時より小学校1年生から中学生までの生徒約40人が集まり陸上教室が行われている。練習をするのに暗くコースが見えず怪我の危険がある。町民グラウンドはあるが、ソフトボールなどの関係者も多く利用している。また、同小

学校は災害時の避難場所に指定されており、夜間照明が必要と思う。また運動会のラインを引くのに、先生や保護者の勤務の関係で明るうちに作業ができず、夜間作業になっていく。地元からも学校に施設要求が出ていると聞いている。岩滝小グラウンドにも夜間照明施設が求められているのではないかと



高岡 伸明 議員

町長

町も、長年にわたり子どもたちを指導している陸上教室からの要望もあり、また、岩滝小学校が災害時の避難場所に指定されていることから、防災上の観点も含め、今後検討したい。

Q まちづくり方針政策町政運営は

A 次年度、機構改革に取り組み



方針施策町政運営は

問

前太田町政と山添町政とのまちづくり方針政策それぞれを実施する為の運営についてここが違うという点はどこか。

町長

産業政策・教育政策を重点政策領域と強く主張している点が違う。方針実施のため、7月1日職員の人件異動を行なうと共に、役員に民間活力を取り入れる仕組み作りも検討している。



小牧 義昭 議員

町長

現在の体制で実施できると考えているが、次年度頭初には機構改革案を示すよう現在検討に入っている。

問

町民の皆さんがこの町の将来が描けるような政策の見える化が必要だがどのように示すのか。町政懇談会やホームページなどで示していきたい。

町長

機構改革はやるのか
政策の実施には人材・組織・体制・財源・法務等が必要だが、合併以来8年間全く変わらない機構でかつ職員のみ減少の旧体制で新町長の重点政策は実現できるのか。

Q 新たな観光振興は

A 阿蘇シーサイドパークでのにぎわいで



阿蘇シーサイドパークのにぎわいを

問

町報「よさの」の六つの政策のなかで観光振興や交流人口事業の促進を実現すると、町民に約束されたが、どのようにして実現されるのか。

町長

天橋立の内海に面したベイエリア、阿蘇シーサイドパーク周辺をもうひとつの、交流人口促進として位置づける。方法は既存の空き家、空き店舗、空き工場などを活用して産業の発展や雇用の確保を目指したい。



渡邊 貫治 議員

私が、フランスで学んだ都市計画のデザインを、重視したものとする。私自身によるトップセールスも含めて、積極的に進めていきたい。近いうちに実現にむけた具体的な工程を示したいと考えている。

Q 産業振興の取り組みを問う

A ブランド戦略会議を立ち上げる



与謝野ブランドの磨き上げを

問 与謝野町の産業の現状は、農業は65歳以上の従事者が過半数を占めている。商工業の事業所数、従業者数、商品販売額のすべてが減少傾向にある。織物業は半分以上の事業所が高齢化などで廃業を考えており、このまま推移すると伝統産業の消滅の危機が迫っている。高齢者の増加で医療福祉介護の分野は増えているが、就労環境や条件が厳しく人材集めがむ

ずかしい状況にある。少子高齢化や人口減少などで地域力の落ち込みもある。このような状況のなか、与謝野町中小企業振興基本条例の関わりも含めて産業振興のため具体的にどのような取り組みをののか。

町長 この地域で生み出される魅力ある産品などを「京都与謝野



塩見 晋 議員

ブランド」として磨き上げ、国内外での販路開拓や外貨獲得を目指す。今年度中には新たな取り組みに向けた活動を行う。

退職職員の再任用制度

問 職員の年齢構成の適正化や、行財政改革の観点から問題があるのでは。

町長 年金の支給開始が段階的に65歳に引き上げられるのに伴う制度である。しっかり検証をしながら運用をはかっていく。

Q 所信表明から具体的政策を問う

A 先ず何が出来るか見極めをしながら進めたい



更なる明るい役場を

問 財政の執行状況からどこを見直し何にメスを入れるのか。

町長 人件費や補助のカットでは限り、限られた財源の有効活用を再確認することが大事。

問 現状からできうることは、指定管理施設の制度見直し、給食センターやKYT、職務も含めた公共サービスの民営化、町有財産の売却などやるべきことは早急に取り組み



家城 功 議員

とが望まれるが。

町長 そういったことも含め積極的な改革を進めていきたい。

問 福祉も子育ても現状を十分理解し支援策を考えるべき。最終的には地域全体で支援できる構築が望まれると考えるが。



安達 種雄 議員

問 この時期思いきった大幅な機構改革を行い、夢のある元氣な町づくりに着手するべきと思うが。

町長 直ちに大幅な機構改革は予定舎問題と関係しており、庁舎問題を議論していただいた「庁舎統合検討委員会」では耐用年数の到来している、野田川町舎本館の問題もあり、課の再配置も含め適切な時期に実施したい。

Q 重点施策の産業振興の具体策は

A 国・府・町の支援制度を活用したい



産業振興の取り組みは

問 若者の定住は雇用、職場の確保と、ものづくりを基軸とした産業振興が必須と思われるが具体的にどのように取り組まれるのか。

町長 先人たちが築かれた丹後ちりめんをはじめとする織物と、与謝野ブランド「京の豆っこ米」などは世界中どこに出しても誇れるものである。「産業振興会議」から「与謝野ブランド戦略」をはじめ、商工、観光

Q 地域活力の現状と今後の課題を問う

A 与謝野ブランド戦略・子ども子育て支援策を問う



与謝野ブランドの拡充を

問 産業創出のための、情報収集の仕組み作りが必要。産業創出商業の拡充をどのように考えるのか。

町長 商工会との連携を強化したい。当町は農業、織物など、ものづくりの町、与謝野ブランド戦略会議を設置し内外問わず販売の拡充をはかりたい。

少子化対策をどのように

問 人口増が地域活力の基本と思



多田 正成 議員

えるか。

町長 子ども子育て支援事業計画を策定し、安心して産み育てることのできる環境づくりを進める。

問 若者が定住しない限り人口増ははかれない。

町長 産業を活性化し、観光交流の促進が若者定住の原点だと考

える。

安心安全な町づくりを

問 新福祉施設のバリアフリー化は進んでいる。町全体の取り組みは進んでいるのか。

福祉課長 旧公共施設、町全体で言われると進んでいない。

家族介護支援策が必要

問 施設介護、自宅介護も財政負担が大変、介護家族の力を取り入れ双方の負担の在り方に工夫を。

町長 福祉介護には家族も必要、今後は提案も含め考えていく。

Q 高い評価の「与謝野町流」福祉政策

A 行政と事務所・地域住民の一体化



どうなる福祉施策は

問 与謝野町の福祉行政の政策、施策、事業は、「与謝野町流のまちづくり」として、町内外より高い評価を受けているが、どういった点にそれを見ることが出来るか。

町長 与謝野町の町づくりの基本理念は、総合計画でも示されているように「自助・共助・商助・公助」による協同のまちづくりである。福祉分野についても、一方的に施策を企画



江原 英樹 議員

問う。

町長 これまでの「与謝野町流のまちづくり」を継承し発展する所存である。福祉の世界もたく縦割りになりがちだが、「やすらの里」に見られる「高齢者福祉」「児童福祉」「地域住民の福祉」も横のつながりをもつて展開されるような福祉政策に取り組み、全ての住民の笑顔がより輝くような町づくりを目指したいと考えている。

Q 国の悪政の下、暮らしをどう守る

A 多角的産業策と循環経済、地域外の財の獲得



集团的自衛権の今後は

問 安倍政権は一定の内閣支持率を維持しているが、消費増税、社会保障改悪など、アメリカと財界いなり政治を続けている。しかも戦後政治がかけてきた諸原則すら否定する右翼的立場で、国民を戦争へ動員するため、秘密保護法や教育統制、メディアへの権力的介入を進めている。その一つ一つが国民や世界との矛盾を深めている。こうした下で、町民の暮らし・営業をどう守るのか。①



伊藤 幸男 議員

町長 ①消費増税では社会保障も財政再建も無理。②国の財政を考えると抜本的見直しがある。③過去の消費増税④社会保障後退⑤TPP⑥憲法改正⑦低所得対策⑧地域協議会。

の日米交渉で質的变化を強いられた検証がある。④巨事故と核廃棄物のリスクが避けられず、自然エネルギーに積極的取り組みべき。⑤国民的議論となっていない。立憲主義に立つべき。⑥所得を上げるため多角的産業振興策、中小企業条例の循環経済と地域外からの財の獲得を進める。⑦後期計画で見送られた。住民参画と協働のまちづくりは重要。まち全体の発展へ務める。

Q 介護保険制度改正の動向と本質は

A 社会保障費の抑制策が見え隠れしている



介護の充実を

問 介護保険制度施行から14年が経過するが、社会保障の拡充という名目で消費税が増税された。今回の介護保険制度の改正で、第一の大きな目的は、「要支援1・2」の人向けの訪問・通所サービスを市町村事業に移管させることだ。ボランティアの活用などを計画するもので、市町村の財政状況などで地域格差が生じる。また、運営上の課題や、守秘義務などの問題



和田 裕之 議員

なども多くあり、ヘルパーなどの専門性をも否定するものだ。二つ目は、特養老人ホーム入所を「要介護3」以上に限定される。三つ目に年収により2割負担などがあげられている。いずれも多くの地方議会や自治体が意見書を出し、世論と運動で見直し相次いだ

改正案である。今回の改正は、国の責任を後退させ、自治体や利用者に責任と負担を押しつける大改悪ではないか。社会保障費の抑制策と取れる内容が見え隠れしている。消費増税を行った以上、目的が外れた場合には、町村会をはじめ関係者が一丸となって大きな声を発していく。

Q 野田川河川敷の整備について

A 状況を確認しながら要望していく



野田川河川敷の現状

問 堂谷橋付近の野田川河川敷の増水の時、流れが悪くなっている。また、土砂の堆積により浅くなっているが、これらの対応は。

町長 雑木伐採の提案書が認められれば府が実施する。雑草は、地元で火入れをしているが、堂谷付近は、住宅などがあり、除去ができない。土砂は状況を見ながら要望する。



河邊 新太郎 議員

問 堂谷樋門について完成予定は。

町長 樋門の開閉が容易にできないことや、樋門に渡る板が狭く危険であることから、平成26年度に改修する予定であるが、コンクリートが

劣化していることから、そのまま構造物にゲートの設置が可能かどうかの、実施設計が必要となり、その業務の入札を6月19日に予定にしている。また、樋門は河川工作物であり、2級河川の管理者である京都府と協議を行なうなど、いくつかの課題を解決する必要がある。完成の時期を明言できない。

用語の解説



繰越明許費

歳出予算の一部を、理由により年度内に支出を終わらない見込みのとき、翌年度に繰り越して使用できる経費。

ふるさと納税

出身地などの地方公共団体に寄附することで、地方を応援する制度。納税額の10%以内で5,000円を超えた金額が所得税と住民税から控除される。

指定管理者制度

公の施設の管理運営に民間の能力を活用しつつ、経費の節減などをはかることを目的として、一定の期間を決め民間業者やNPOなどと協定を結ぶ制度。

お知らせ

インターネットによる議会 ライブ中継の終了について

与謝野町議会では、インターネットによる本会議のライブ中継を、セキュリティ（安全性）の関係により、平成26年3月末をもって終了しました。4月以降は、与謝野町有線テレビ（KYT）による生中継及び録画放送をご観いただきますようお願いいたします。



表紙写真紹介

平成26年度春の運動会（石川小学校）



フランス留学

Q フランス留学前後を問う

A 必要な資料は出したい

問 町長のプロフィールについてインターネットの書き込みサイトや質問がよせられている。町長という公職上、はつきりとさせて町政の運営にあたって欲しいと願っている。

町長 19歳で渡仏し、語学学校や建築の専門学校に通いながら、進学したかった国立建築大学・パリ・マラケ校に入学し、住宅設計から都市計画まで幅広く建築を学び、政治や社会学も学びたいとの思いから、国立高等

社会科学研究院に編入し、2年次まで修めて帰国した。

問 フランス大使館などの資料では、国立大学への留学は日本の四年制大学を卒業もしくは在学中が合格していることが条件になって



勢簀 毅 議員

問 双峰公園の再開発の事業導入と、地下水探査ができないか。地下水探査については今後の課題としたい。

町長

問 大江山系の水脈探査

町長 日本は大学に行っていないが、合格はしている。今後資料が必要な場合は、私の方で取得する用意がある。議会運営委員会にも証明書を提出したが、必要なら資料はこちらとする。



岩滝幼稚園の改築に向けて

Q 認定子ども園の推進と施設の活用

A 現施設の有効活用も検討する

問 岩滝・野田川・加悦に一ヶ所づつ建設予定だが、現施設の有効利用は。

町長 岩滝地域の子ども園は、現岩滝幼稚園の敷地に新しく整備する。岩滝保育所は耐震補強を完了しているが、他の有効活用を検討する。野田川、加悦地域は新しい施設の整備を視野に入れ、現施設の有効利用も検討する。

問 小学校の統合は34年に同時にするのではなく、複式学級の

問 発生する学校から統合する考えか。

町長 複式学級などを理由として、保護者や地域の方々から、34年度よりも早い統合を求める要請があれば検討する。

問 道徳の教科化は

町長 道徳の教科化は児童や先生にどんな影響があるのか。



宮崎 有平 議員

問 選挙結果について

町長 町長、町議選挙の結果をどのように見るのか。今後の選挙の啓発は。

選管委員長 投票率は前回より低い結果であり、有権者の政治的無関心が原因と思われる。選挙啓発は即効的な効果を得ることとは困難であり、投票率が少しでも上がるように、地道に活動を進める。



野田川駅のトイレの改修

Q 「海の京都」構想のまちづくりは

A マスタープランの実現に向け

問 現在、与謝野町実践者会議は第2ステージを迎え、町のありたい姿への戦略プロジェクト具現化に取り組んでいる。より多くの民間活力を導き、参画できる出発点と考え、行政に次の3つの骨格を提案する。①野田川駅の増改築整備と有効活用②野田川駅から各エリアへの交通アクセスの確立③旧加悦町役場の耐震を含む整備と活用。

町長 6つの公約のなかでも「新しい視点での産業振興」を重点政策に位置付けている。海の京都構想についても、その一環で行政として民間の皆様と共に積極的に進めていきたい。①野田川駅は与謝野町の唯一の駅であり、町の玄関口として重要な施



藤田 史郎 議員

設と認識し、その第一歩としてトイレの改修を補正予算に計上した。②交通アクセスについては、既存の丹海バスにより「KTRの特急バス」の接続や二〇〇円料金改正の改善がなされた。さらなるサービス向上に努力していく。③旧加悦町役場については、実践者会議のなかでも最も要望されている所である。府の文化財施設でもあり、保存から活用に向けて、まず耐震診断を今年度に進めていく。



まちの宝

子どもページ

げんきもりもりクラブ の紹介

与謝野町明石にある古墳公園の東側、農村文化伝習センターのなかに「げんきもりもりクラブ」があります。

平成25年度から桑飼小学校児童と与謝小学校児童が一緒になり、校区の壁を越えて毎日子どもたちの笑い声が聞こえます。

保育室からは、古墳公園の囲炉裏の館が見え、普段はなかなか触れることのできない『文化の香り』にふれることができる環境です。

暑い夏を迎え、汗をブルブルにかきながら真っ赤な顔をして元気がよく「ただいま〜」と帰ってくる子どもたちは疲れ知らず。おやつと宿題をさっさと済ませ、元気に遊びまわります。また、保育室の一角にある『かわいい畑』には、子どもたちが植えてくれたさつま芋もやきゅうり、プチトマトが顔をだし、子どもたちと成長を競うかのように日々大きくなっています。子どもたちも、水やりや草抜きを積極的にしてくれ、今から秋の収穫が楽しみです。

熱中症も気になる季節ですが、水分補給をしっかり行い、笑顔で元気に登所できるよう見守ってまいります。



町民の広場

与謝野町の未来につながるオリジナルアイデアを募集します!!たとえば、「1人目から子供の保育料を無料にしてほしい」や「与謝野町の特産品を開発したい」というものから、「与謝野町だからこそ可能」な具体的なアイデアまで何でも結構です。町民の皆さんからの様々な建設的なアイデアやご意見をお待ちしております。

私たちの住む与謝野町をより明るい、活気のある未来へとつなげましょう。

● アイデア・意見

現在でも、平日や休日に自由に利用できる施設（図書館など）はありますが、夜間利用ができないため、休日や仕事、学校が終わった後に、夜間でも自由に利用ができる24時間無料開放施設があれば嬉しいです。（インターネット環境完備・自動販売機などの休憩施設含む）

● なんのために

既存施設の有効利用および町民への平等な学習機会の付与、コミュニティの構築・深化のため

● なぜ

各地区の住民が集まる場合に於いて、各区で公民館などの利用に制限があるため、いつでも利用可能な町施設があれば、地区の隔たりなくいつでも集まることができるため、勉強したくても自宅では勉強をする環境を整えることができない人の学習の機会を確保するため。

● どんな未来が描けるか

24時間無料開放することにより、町民は平等に学習の機会が与えられ、生涯学習を通じて、コミュニティが構築されていくことが期待できると思います。また、既存施設における子育てサロンなど各種サロンの開催により、サロンを通じて町民の交流が活性化し、コミュニティの構築・深化が期待できると思います。現在、十分に活用されているとは言いがたい既存施設において、従来、施設が備えている地域の中心としての機能を最大限に引き出すことが可能となり、少子高齢化、コミュニティの衰退が叫ばれるなかで、既存の施設の有効利用を解消するという点において、成果があげられると思います。

● 投稿者氏名（【匿名可】）……30代女性



※お寄せいただきましたアイデア・意見については、町づくりの参考にさせていただきます。

編集後記

▼今回の発行から、新委員会のメンバー担当を任せていただきました。よろしくお願いします。
▼議会だよりは、議会の報告書でもあり、町民の皆様と議会を結ぶ架け橋であります。▼できるだけ早く正確に編集し、発行したいと思っております。▼原稿の取りまともや割付レイアウトなども見直し皆様ご協力ください。紙面づくりに全力で取り組んでまいります。▼皆様の貴重なご意見や感想、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。（記 和田）

発行責任者

議長 長 今田 博文

編集

議会広報特別委員会

委員長 和田 裕之
副委員長 小牧 義昭
委員 高岡 伸明
藤田 史郎
宮崎 有平

河邊新太郎
多田 正成